

試験研究発表題名

平成18年度 試験研究発表題名一覧

1. 室山泰之(京都大学),金森弘樹(島根県),北原英治. Seasonal variation and sex differences in the nutritional status in two populations of wild Japanese macaques(野生ニホンザル2地域群における栄養状態での季節変化と性差).Primates, 47(4): 355-364
2. 北原英治. 鳥獣害の診断と防除. 最新・樹木医の手引き(改訂3版): 328-342
3. 北原英治. 鳥獣害から果樹園を護る - 第11回野ネズミの生態と果樹園の防御策 -. 果実日本, 61: 92-94
4. 北原英治. 野生動物との共存と農林業被害. 圃場と土壌, 39(3): 19-25
5. 北原英治, 大井徹. 「野生動物による農林業被害軽減のために」IMC9公開シンポジウム記録3. 哺乳類科学, 46(1): 51-52
6. 山田文雄. 鳥獣害から果樹園を護る 第9回ノウサギの生態と果樹園の防御策. 果実日本, 61: 70-71
7. 草刈秀紀(WWFジャパン), 山田文雄, 五箇公一(国立環境研究所). 奄美大島・沖縄島の外来種に対する教職員・児童・生徒の意識の現状と課題. 環境教育学会大会講演要旨集, 17: 119
8. 小林剛士(北海道大学), 山田文雄, 橋本琢磨((財)自然環境研究センター), 阿部慎太郎(環境省奄美野生生物保護センター), 篠原明男(宮崎大学), 越本知大(宮崎大学), 松田洋一(北海道大学), 黒岩麻里(北海道大学). トゲネズミ二種間におけるX染色体の構造変化. 染色体学会年会講演要旨集, 57: 44
9. 石口泰子(北海道大学), 山田文雄, 橋本琢磨((財)自然環境研究センター), 阿部慎太郎(環境省奄美野生生物保護センター), 松田洋一(北海道大学), 黒岩麻里(北海道大学). X0型トゲネズミにおけるY染色体消失過程の推定. 染色体学会年会講演要旨集, 57: 44
10. 半田早奈英(北海道大学), 山田文雄, 橋本琢磨((財)自然環境研究センター), 阿部慎太郎(環境省奄美野生生物保護センター), 篠原明男(宮崎大学), 越本知大(宮崎大学), 福井由宇子(基礎生物学研究所), 諸橋憲一郎(基礎生物学研究所), 松田洋一(北海道大学), 黒岩麻里(北海道大学). トゲネズミにおけるM33遺伝子のコピー数の検証. 染色体学会年会講演要旨集, 57: 45
11. 山田文雄. マングースによる希少種への影響. 日本哺乳類学会2006年度大会講演要旨集, 21
12. 亘悠哉, 阿部慎太郎, 山下亮, 山田文雄, 高槻成紀, 宮下直. マングースが及ぼす在来生物への影響とモニタリング対象種の検討. 日本哺乳類学会2006年度大会講演要旨集, 21
13. 草刈秀紀, 山田文雄, 五箇公一. 防除事業地域における住民, 教育者, 行政者の外来種の意識実態と課題. 日本哺乳類学会2006年度大会講演要旨集, 22

14. 山田文雄, 安藤元一. 希少猛禽類生息地における餌動物としての哺乳類相. 日本生態学会大会講演要旨集, 54 : p340
15. 山田文雄, 五箇公一, 草刈秀紀. 特定外来生物防除の最前線 - 対策と問題点. 日本生態学会大会講演要旨集, 54 : p46
16. 安田雅俊, 山田文雄. 陸域生態系におけるPOPsの蓄積と挙動, 東関東の里山と湖沼を事例として. 化学物質と環境, 76: 13-15 (2006.03)
17. 山田文雄, 安田雅俊, 川路則友ほか. オイ1b2 野生鳥獣における有機塩素系化合物の蓄積と挙動. 森林総合研究所 才分野 (平成13~17年度) 研究成果集
18. 永田純子, 丸山哲也, 浅田正彦, 落合啓一, 山田文雄, 川路則友. 栃木県および近隣県におけるイノシシの遺伝的特徴. 平成17年度野生鳥獣研究紀要・栃木県民の森事務所
19. 山田文雄. 「種の保存法」に指定されたアマミノクロウサギの保護の今後. 「アマミノクロウサギ・シンポジウム報告書」: 7-11
20. 山田文雄. 外来種問題と生物多様性保全. 森林総合研究所関西支所研究情報, 82 : 1
21. 山田文雄. 森林総合研究所における獣害研究プロジェクトの概要. 平成18年度第1回滋賀県森林センター技術研修講演要旨
22. 村上興正, 石井信夫, 池田透, 常田邦彦, 山田文雄. 日本と諸外国における外来種問題とその対策 - 現状と課題. 哺乳類科学46 : 69-74
23. 山田文雄. マングース根絶への課題. 哺乳類科学46 : 99-102
24. Watari Y., F. Yamada (山田文雄), K. Sugimura and S. Takatsuki. Direct and indirect effects of an alien mongoose (*Herpestes javanicus*) on the native animal community on Amami-Oshima Island, southern Japan, as inferred distribution patterns of animals. . In Koike, F, M. N. Clout, N. Kawamichi, M. De Poorter and K. Iwatsuki (eds.) Assessment and Control of Biological Invasion Risks. Pp. 122-123. IUCN, Switzerland.
25. Abe, S., F. Yamada (山田文雄), Y. Hanada, Y. Takatsuki, Y. Abe, R. Yamashita M. Fukuda. Reproductive response of the mongoose (*Herpestes javanicus*), to control operations on Amami-Oshima Island, Japan. In Koike, F, M. N. Clout, N. Kawamichi, M. De Poorter and K. Iwatsuki (eds.) Assessment and Control of Biological Invasion Risks. Pp. 157-164. IUCN, Switzerland.
26. Yamada F.(山田文雄). A review of the biology and conservation of the Amami rabbit (*Pentalagus furnessi*) . In (Paulo C. Alves, Klaus Hackländer and Nuno Ferrand eds.) Lagomorph Biology: Evolution, Ecology and Conservation. Springer.: 369-378.

27. Fumio Yamada (山田文雄), Ken Sugimura, Sintaro Abe. . NEGATIVE IMPACT OF INVASIVE MON-
GOOSE ON AMAMI RABBIT AND ITS CONSERVATION . Society for Conservation Biology/ 20th Annual
Meeting, Abstracts : 224
28. Tsuyoshi Kobayashi, Fumio Yamada (山田文雄), Takuma Hashimoto, Kaori Sato, Nobuo Ishii, Shintaro Abe,
Akio Shinohara, Chihiro Koshimoto, Yoichi Matsuda, Asato Kuroiwa . Comparative FISH mapping of the
mouse X-linked genes in X0 mammal, the Amami spiny rat (Tokudaia osimensis) .国際生化学・分子生物学会議,
20 : 5P-B-156
29. 大住克博, 石井敦子, 島田卓哉 . アベマキの萌芽は実生よりもよく伸びる . 日本森林学会大会学術講演集, 117 :
30. Masaki Takashi (正木隆), Mori Shigeta (森茂太), Kajimoto Takuya (梶本卓也), Hitsuma Gaku (櫃間学),
Sawata Satoshi (澤田智志), Mori Masuo (森麻須夫), Osumi Katsuhiko (大住克博), Sakurai Shobu (桜井尚
武), Seki Takeshi (関剛) . Long-term growth analyses of Japanese cedar trees in a plantation: neighborhood
competition and persistence of initial growth deviations . Journal of Forest Research , 11:217-225
31. 大住克博 . 里山における生態系の機能の再生・向上技術の開発 - 生態学的知見を基にした現代の里山更新技術の提
案 - . 農における自然との共生II (農林水産会議事務局 / 自然共生プロ研究推進事務局編)
32. 大住克博 . 生態系管理, 資源循環利用と森林管理 . 主張する森林施業論, 49-61, 359-368
33. 大住克博, 黒田慶子, 衣浦晴生, 高畑義啓 . ナラ枯れの被害をどう減らすか - 里山林を守るために - . 小冊子, 森
林総合研究所関西支所発行 : 23pp
34. 大住克博 . 変容する里山のコナラ林 - ナラ類の集団枯損の背景 . ナラ枯れの被害をどう減らすか - 里山林を守るた
めに - , 森林総合研究所関西支所
35. 岡裕泰 . 世界の森林資源と丸太生産 . 「森林・林業・木材産業の将来予測」森林総合研究所編, 日本林業調査会 :
17-37
36. 岡裕泰, 田村和也, 立花敏 . 「世界の林産物需給の将来予測」森林・林業・木材産業の将来予測」森林総合研究所編,
日本林業調査会 : 39-71
37. 岡裕泰, 久保山裕史 . 森林資源と伐採・更新の動向 . 「森林・林業・木材産業の将来予測」森林総合研究所編, 日本
林業調査会 : 163-185
38. 久保山裕史, 岡裕泰 . 森林資源の将来予測 . 「森林・林業・木材産業の将来予測」森林総合研究所編, 日本林業調査
会 : 251-280
39. 岡裕泰, 立花敏, 久保山裕史, 野田英志 . 日本林業の将来を考える . 「森林・林業・木材産業の将来予測」森林総合
研究所編, 日本林業調査会 : 409-427

40. 岡裕泰, 田村和也, 立花敏. グローバルモデルによる世界の森林資源・林産物市場の長期推計. 「森林・林業の資源的, 社会経済的長期見通し手法の開発」森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 12: 11-25
41. 久保山裕史, 岡裕泰. シミュレーションによる森林資源の長期推計. 「森林・林業の資源的, 社会経済的長期見通し手法の開発」森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 12: 48-64
42. 竹田雅浩, 岡裕泰, 野田巖, 山田麻木乃. CDM植林の投資シミュレーションプログラムの開発. 平成17年度森林吸収源計測・活用体制整備強化事業調査報告書(2) CDM植林基礎データ整備, 森林総合研究所: 174-182
43. 岡野通明, 吉武孝, 細田育広, 小南裕志, 深山貴文, 鈴木純(CSIRO, 信州大学), 青島史子(Universitaet Hohenheim). 無雪期の高山帯におけるB領域紫外線の観測 - 通説「山岳地では紫外線が強い」の検証 - . 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会発表要旨集, 57: 32
44. 古澤仁美, 日野輝明, 金子真司, 荒木誠. 大台ヶ原においてニホンジカとミヤコザサが表層土壌の温度・水分状態に及ぼす影響. 森林立地, 48(2): 91-98
45. 田淵研, 尾崎研一, 上田明良, 日野輝明. シカがササに生息するタマバエに及ぼす間接効果: 産卵・ゴール形成・適応度への影響. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: 330
46. 日野輝明, 伊東宏樹, 古澤仁美, 上田明良, 高畑義啓, 伊藤雅道. シカとササをめぐる生物間相互作用と森林生態系管理. 林業と薬剤178: 1-11
47. Hino T (日野輝明). Diversity and plasticity of branch-side use by birds in mixed-species flocks (混群の鳥による枝面利用の多様性と柔軟性). *Ornithological Science* 6(1): 49-58
48. Hino T (日野輝明). Intraspecific differences in benefits from feeding in mixed-species flocks (混群で採食することで得られる利益の種内の違い). *Abstracts of International Ornithological Congress* 24: 89
49. Tabuchi K (田淵研), Ueda A (上田明良), Ozaki K (尾崎研一), Hino T (日野輝明). Positive indirect effects of deer browsing on dwarf bamboo for the abundance of gall midge (シカがササを食べることでゴールを作るタマバエの数に及ぼす正の間接効果). *Abstracts of International Congress of Dipterology* 6: 255
50. Setsuko Suzuki (鈴木節子)(名古屋大学), Ishida Kiyoshi (石田清), Ueno Saneyoshi (上野真義), Tsumura Yoshihiko (津村義彦), Tomaru Nobuhiro (戸丸信弘)(名古屋大学). Population differentiation and gene flow within a metapopulation of a threatened tree, *Magnolia stellata* (Magnoliaceae) (希少樹木シデコブシのメタ個体群における集団分化と遺伝子流動). *American Journal of Botany*, 94(1): 128-136
51. 鈴木節子(名古屋大学), 石田清, 上野真義, 津村義彦, 戸丸信弘(名古屋大学). シデコブシのメタ集団における遺伝子散布パターン. 日本森林学会大会学術講演集, 117: M03
52. 石田清, 清野嘉之, 五十嵐哲也, 伊東宏樹, 竹内郁雄(鹿児島大学). 強度間伐がスギ人工林の雄花生産に及ぼす影響. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会発表要旨集, 57: 53

53. 鈴木節子 (名古屋大学), 石田清, 戸丸信弘 (名古屋大学). 絶滅危惧樹木シデコブシの開花フェノロジー. 日本森林学会中部支部大会講演要旨集, 55: 3
54. 石田清. 集団サイズと近親交配が近交弱勢に及ぼす影響 - 数理モデルによる世代変化の予測 - . 日本生態学会大会講演要旨集, 54: P3-200
55. 井上みずき (京都大学), 石田清. 雌雄異株クローナル植物ヤチヤナギの性比とその分布. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: D3-09
56. 河村耕史 (日本学術振興会特別研究員), 石田清. コバノミツバツツジの開花期と自家不和合性の個体間変異. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: P1-179
57. 石田清. レッドリストの生き物たち31 シデコブシ (絶滅危惧II類). 森林技術, 769: 36-37
58. 石田清. ホオノキの近交弱勢に及ぼす近親交配の影響. 森林総合研究所関西支所年報, 47: 45
59. 石田清. 里山の植物 (2) コモチマンネングサ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 81: 4
60. 石田清. 里山の植物 (3) イラクサ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 82: 4
61. 石田清. 里山の希少植物の保全管理をめざして. 森林総合研究所関西支所研究情報, 83: 1
62. 伊東宏樹. 京都近郊のスギ人工林における間伐後の下層植生. 森林応用研究, 15: 83-86
63. 伊東宏樹. ゲンノショウコ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 83: 4
64. Ito Hiroki (伊東宏樹). Changes in a secondary forest located in Kyoto City, mid-west part of Japan (京都市内の二次林の変化). Proceedings of the International Conference on Ecological Restoration in East Asia 2006, Osaka: 159
65. Ito Hiroki (伊東宏樹). An estimation of carbon capture ability in a secondary forest (二次林の炭素固定能の推定). Proceedings of the 6th Korea-Japan joint seminar of forest ecology: 43-46
66. 五十嵐哲也, 田内裕之, ヘルウィント シンボロン. インドネシア東カリマンタンにおける下層植生多様性の乾期前後の変化. 日本森林学会大会学術講演集, 117: PD40
67. 五十嵐哲也, ヘルウィント シンボロン. 東カリマンタン州における人工林下層植生の多様性. 公開国際セミナー「CDM植林と熱帯林の生き物 - 地球温暖化対策の一つCDM植林が熱帯林の生物多様性におよぼす影響 - 」
68. 五十嵐哲也. 里山の植物 (1) フデリンドウ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 80: 4

69. 溝口岳男, 平野恭弘, 野口享太郎. 森林樹木細根動態研究へのイングロース法の応用 - そのポテンシャルと限界 - . 日本森林学会大会学術講演集, 117 : C11
70. 酒井寿夫, 森澤猛, 溝口岳男, 西山嘉彦, 森貞和仁. 御岳岩屑流堆積地における緑化植林後17年目の土壌炭素・窒素貯留量. 日本森林学会大会学術講演集, 117 : PG28 (736)
71. Hasegawa M., Fukuyama K., Makino S., Okochi I., Goto H., Mizoguchi T. (溝口岳男), Sakata T., Tanaka H. . Collembolan community dynamics during deciduous forests regeneration in Japan. . *Pedobiologia* , 50 : 117-126
72. Nagakura J., Akama A., Mizoguchi T. (溝口岳男), Okabe H., Shigenaga H., Yamanaka T. . Effects of chronic nitrogen application on the growth and nutrient status of a Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) stand. . *Journal of Forest Research* , 11 : 299-304
73. 細田育広. 長期水位観測データの精度変動について 釜淵森林理水試験地を例として . 日本森林学会大会学術講演集, 117 : PD08
74. 細田育広, 深山貴文, 小南裕志, 岡野通明, 玉井幸治, 後藤義明. 竜ノ口山森林理水試験地南谷2004年風倒害による部分的な森林消失前後の水流の変化について. 2006年度水文・水資源学会研究発表会要旨集 : 212-213
75. 細田育広, 岡野通明, 小南裕志, 深山貴文, 後藤義明. 竜ノ口山森林理水試験地の降雨・流出概況 - 2006年1～12月 - . 平成18年度竜ノ口山国有林における山地森林水保全機能調査報告書 : 97
76. 後藤義明, 玉井幸治, 深山貴文, 小南裕志, 細田育広. 竜の口山森林理水試験地における広葉樹二次林の階層構造に及ぼす攪乱の影響. 森林総合研究所研究報告, 5(3) : 215-225
77. 上村真由子 (農業環境技術研究所), 小南裕志, 檀浦正子 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学). 粗大有機物の分解呼吸速度の温度依存性について;温度測定深度が温度依存性評価に及ぼす影響. 農業気象, 62 (3) : 103-108
78. 檀浦正子 (神戸大学), 小南裕志, 玉井幸治, 後藤義明, 上村真由子 (農業環境技術研究所), 金澤洋一 (神戸大学). 京都府南部広葉樹林において短期間に測定された根呼吸量の土壌呼吸量に対する寄与の評価. 農業気象, 62(1) : 15-21
79. 檀浦正子 (神戸大学), 鈴木麻友美 (神戸大学), 小南裕志, 後藤義明, 金澤洋一 (神戸大学). 京都府南部の広葉樹二次林における根現存量および根表面積. 日本森林学会誌, 88(2) : 120-125
80. 檀浦正子 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学), 上村真由子 (農業環境技術研究所), 小南裕志, 後藤義明. 落葉広葉樹林の炭素循環において根呼吸が果たす役割について. 日本森林学会大会学術講演集, 117 : C19
81. 上村真由子 (農業環境技術研究所), 金澤洋一 (神戸大学), 小南裕志, 後藤義明. 京都府南部落葉広葉樹二次林における枯死木の炭素収支が森林の炭素循環に与える影響. 日本森林学会大会学術講演集, 117 : D17
82. 小南裕志, 深山貴文, 玉井幸治, 上村真由子 (農業環境技術研究所), 檀浦正子 (神戸大学), 後藤義明. 複雑地形上の落葉広葉樹林におけるCO₂交換量の推定と問題点. 日本森林学会大会学術講演集, 117 : D18

83. 濱田省吾 (神戸大学), 檀浦正子 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学), 小南裕志, 後藤義明. 京都府南部落葉広葉樹二次林における土壌呼吸測定手法の検討. 日本森林学会大会学術講演集, 117: PC13
84. 玉井幸治, 清水貴範, 大貫靖浩, 小南裕志, 深山貴文. 褐色森林土壌と未熟土壌の森林における土壌呼吸特性の比較. 農業環境工学関連7学会2006年合同大会講演要旨集: PO61462
85. Jomura M. (上村真由子)(農業環境技術研究所), Kominami Y. (小南裕志), Tamai K. (玉井幸治), Miyama T., Goto Y. (後藤義明), Dannoura M. (檀浦正子)(神戸大学), and Kanazawa Y. (金澤洋一)(神戸大学). Effect of organic matter variation on decomposition process in forest ecosystem -evaluation using modified ROTH-C model-. Proceedings of international workshop on flux evaluation over diverse terrestrial ecosystem in asia, 26
86. Hamada S. (濱田省吾)(神戸大学), Dannoura M. (神戸大学), Kominami Y. (小南裕志), Jomura M. (上村真由子)(農業環境技術研究所), Kanazawa Y. (金澤洋一)(神戸大学). Effect of soil-collar insertion on soil respiration in secondary deciduous broad-leaved forest. Proceedings of international workshop on flux evaluation over diverse terrestrial ecosystem in asia, 88
87. Misawa N. (神戸大学), Jomura M. (上村真由子)(農業環境技術研究所), Kanazawa Y. (金澤洋一)(神戸大学), Kominami Y. (小南裕志). Long term estimate of aboveground production by a tree ring analysis in a temperate broad-leaved secondary forest in Japan. Proceedings of international workshop on flux evaluation over diverse terrestrial ecosystem in asia, 96
88. Yuji Kominami (小南裕志), Takafumi Miyama (深山貴文), Koji Tamai (玉井幸治), Masako Dannoura (檀浦正子), Mayuko Jomura (上村真由子)(農業環境技術研究所), Yshiaki Goto (後藤義明), Yoichi Kanazawa (金澤洋一). Diversified evaluation of carbon balance at warm temperate forest in Japan (日本の暖温帯林における炭素収支の多面的評価). Proceedings of international workshop on flux evaluation over diverse terrestrial ecosystem in asia, 95
89. Y Ohtani (大谷義一), N Saigusa (三枝信子)(産業技術総合研究所), R Hirata (平田竜一)(国立環境研究所), R Ide, Y Fujinuma (藤沼康実)(国立環境研究所), T Hirano, (平野高司)(北海道大学), K. Kitamura (北村兼三), Y Kominami (小南裕志), Y Kosugi (小杉緑子)(京都大学), T Miyama (深山貴文), Y Mizoguchi (溝口康子), T Morisawa (森澤猛), Y Nakai (中井裕一郎), T Saito (斎藤武史) T Shimizu (清水貴範), K. Tamai (玉井幸治), M Tani (谷誠)(京都大学), T Watanabe (渡辺力)(北海道大学), Y Yasuda (安田幸生), T Oikawa, S Yamamoto (山本進)(岡山大学). Seasonal variation of net ecosystem productivity in Japanese temperate forests (日本の温帯林における生態系純生産量の季節変動). AsiaFlux workshop 2006 Proceedings: 7
90. Masako Dannoura (檀浦正子)(神戸大学), Yuji Kominami (小南裕志), Koji Tamai (玉井幸治), Mayuko Jomura (上村真由子)(農業環境技術研究所), Takafumi Miyama (深山貴文), Yoshiaki Goto (後藤義明), Yoichi Kanazawa (金澤洋一)(神戸大学). Development of an automatic chamber system for long-term measurements of CO₂ flux from roots (根系からのCO₂フラックス長期観測のための自動チャンバーの開発). TellusB, 58(5): 502-512

- 91 . Jomura M. (上村真由子)(農業環境技術研究所), Kominami Y. (小南裕志), Tamai K. (玉井幸治), Miyama T. (深山貴文), Goto Y. (後藤義明), Dannoura M. (檀浦正子)(神戸大学), and Kanazawa Y. (金澤洋一)(神戸大学) . The carbon budget of coarse woody debris in a temperate broad-leaved secondary forest in Japan. . *Tellus B*, 59 (2) : 211-222
- 92 . Koji Tamai (玉井幸治), Yuji Kominami (小南裕志), Takanori Shimizu (清水貴範), Takafumi Miyama (深山貴文), Yasuhiro Ohnuki (大貫靖浩), Yoshikazu Ohtani (大谷義一). EFFECT ESTIMATION OF ENVIRONMENTAL FACTORS AND SOIL PROPERTY ON TOPOGRAPHICAL VARIATION OF SOIL RESPIRATION THE CASE OF EXTREMELY IMMATURE AND MATURE FOREST SOIL (土壌呼吸の地形スケールでの空間変動に及ぼす環境因子と土壌特性の影響評価: 未熟土と森林褐色度の比較). *AsiaFlux workshop 2006 Proceedings*, 91
- 93 . Jomura M. (上村真由子)(農業環境技術研究所), Kominami Y. (小南裕志), Dannoura M. (檀浦正子)(神戸大学), Miyama T. (深山貴文). Effect of organic matter variation on decomposition process in forest ecosystem - Evaluation using modified Roth-C model-(森林生態系における有機物の種組成が分解に与える効果 - Roth-Cモデルによる評価 -). *Proceedings of Asia flux workshop 2006*
- 94 . Masako Dannoura (檀浦正子), Yuji Kominami (小南裕志), Koji Tamai (玉井幸治), Mayuko Jomura (上村真由子)(農業環境技術研究所), Takafumi Miyama (深山貴文), Yoshiaki Goto (後藤義明), Yoichi Kanazawa (金澤洋一)(神戸大学). The evaluation of root respiration using some methods in temperate deciduous forest of central Japan (いくつかの方法による日本中央部の温帯落葉樹林における根呼吸量の評価). *AsiaFlux workshop 2006 Proceedings*, 92
- 95 . 平野恭弘 . 環境ストレスに対する感受性指標としての樹木細根 . *日本森林学会大会学術講演集*, 117 : C29
- 96 . 野口享太郎, 平野恭弘 . 第4回国際樹木根会議 (4th International Symposium on Dynamics of Physiological Processes in Roots of Woody Plants) のご紹介 . *根の研究*, 15(4) : 198
- 97 . Hirano Yasuhiro (平野恭弘), Tanikawa Toko (谷川東子), Mizoguchi Takeo (溝口岳男). Physiological and morphological adaptations of Japanese cedar roots under aluminum stress (アルミニウムストレス下におけるスギの生理的・形態的適応). *COST E38 Proc. Roots, mycorrhizas and their external mycelia in carbon dynamics in forest soil. Poster 9*
- 98 . Hirano Yasuhiro (平野恭弘), Walthert Lorenz (WSL), Brunner Ivano (WSL). Callose in root apices of European chestnut seedlings: a physiological indicator of aluminum stress (ヨーロッパグリ苗の根端カロース). *Tree Physiology* 26: 431-440
- 99 . Hirano Yasuhiro (平野恭弘), Brunner Ivano (WSL). Quantitative callose determination of tree roots (樹木根のカロース定量). *Journal of Plant Physiology*. 163: 1333-1336.

- 100 . Qin RuiJung (WSL), Hirano Yasuhiro (平野恭弘), Brunner Ivano (WSL). Exudations of organic acid anions from poplar roots after exposure to Al, Cu and Zn (Al, Cu Zn処理されたポプラ苗からの有機酸の浸出). *Tree Physiology* 27 : 313-320
- 101 . Kaneko Sinji (金子真司), Akieda Noriko (秋枝紀子)(近畿大学), Naito Fumiya (内藤文哉)(近畿大学), Tamai Koji (玉井幸治), Hirano Yasuhiro (平野恭弘). Nitrogen budget in a rehabilitated forest on a degraded granitic hill (花崗岩再生林における窒素収支). *Journal of Forest Research* 12: 38-44
- 102 . Heim Alexander (WSL), Hirano Yasuhiro (平野恭弘), Luster Jorg (WSL). Organic Acids in Roots and Root Exudates (根と根の浸出物における有機酸). *Handbook of Methods Used in Rhizosphere Research*. 294-295
- 103 . Hirano Yasuhiro (平野恭弘), Brunner Ivano (WSL). Callose concentrations in tree roots (樹木根のカロース濃度). *Handbook of Methods Used in Rhizosphere Research*. 298-299
- 104 . 深山貴文, 小南裕志, 玉井幸治, 後藤義明. 落葉広葉樹二次林における夜間群落呼吸量の構成と季節変動特性. *日本森林学会大会学術講演集*, 117 : 232
- 105 . 深山貴文, 小南裕志, 細田育広, 岡野通明. 落葉広葉樹2次林における地上部成長呼吸量の季節変動特性について. *森林総合研究所関西支所年報*, 47 : 46
- 106 . 後藤義明, 玉井幸治, 深山貴文, 小南裕志, 細田育広. 竜の口山森林理水試験地における広葉樹二次林の階層構造に及ぼす攪乱の影響. *森林総合研究所研究報告*, 5(3) : 215-225
- 107 . Takafumi Miyama (深山貴文), Yuji Kominami (小南裕志), Koji Tamai (玉井幸治), Yoshiaki Goto (後藤義明), Teruhiko Kawahara (河原輝彦)(東京農業大学), Mayuko Jomura (上村真由子)(農業環境技術研究所), Masako Dannoura (檀浦正子). Components and seasonal variation of nighttime total ecosystem respiration in a Japanese broadleaved secondary forest (日本の広葉樹二次林における夜間の総生態系呼吸量の内訳と季節変化). *TellusB*, 58(5) : 550-559
- 108 . Miyama T. (深山貴文), Kominami Y.(小南裕志), Dannoura M.(檀浦正子), Jomura M.(上村真由子). ABOVE AND UNDERGROUND RESPIRATION IN A DECIDUOUS BROADLEAVED FOREST(落葉広葉樹林における地上部と地下部の呼吸量). *Proceedings of Asia flux workshop 2006*
- 109 . 大井徹. スマトラの森での思い出. 村山美穂・渡邊邦夫・竹中晃子編「遺伝子の窓から見た動物たち：フィールドと実験室をつないで」(京都大学学術出版会) : pp417-418
- 110 . 池谷和信(国立民俗学博物館), 大井徹. 人間 - 動物の<境界>はどこに消えたのか?. *エコソフィア*(昭和堂), 17 : 1-9
- 111 . 大井徹. ツキノワグマの生態から日本の森林を考える.. *森林環境2007*(森林文化協会) : pp16-26

112. 大井徹. 被害発生過程におけるサルの行動と生息地利用の解明. 研究成果441「野生鳥獣による農林業被害軽減のための農林生態系管理技術の開発(農林水産省農林水産技術会議事務局): pp.62-66
113. 大井徹. あるニホンザル加害群が集中利用する場所の植生の特徴について. 日本哺乳類学会2006年度大会講演要旨集, pp.54.
114. Kawamoto Yoshi (川本芳)(京都大学), Shotake Takayoshi (庄武孝義)(京都大学), Nozawa Ken (野澤謙)(京都大学), Kawamoto Sakie (川本咲江)(京都大学), Tomari K (泊賢一朗)(京都大学), Kawai Sizuka (川合静)(京都大学), Shirai Kei (白井啓)(野生動物保護管理事務所), Morimitsu Yoshiki (森光由樹)(野生動物保護管理事務所), Takagi Naoki (高木直樹)(獣害総合研究所), Akaza Hisaaki(赤座久明)(雄峰高校), Fujii Hisashi (藤井恒)(尚絅大学), Hagihara K (萩原光)(房総の野生生物調査会), Aizawa K (相澤啓吾)(館山高校), Akachi S (赤地重宏)(三重県科学技術振興センター), Oi Toru (大井徹), Hayaishi Shyuhei(早石周平)(京都大学). Postglacial population expansion of Japanese macaques (*Macaca fuscata*) inferred from mitochondrial DNA phylogeography. (ミトコンドリアDNAの系統から推測された氷河期以降のニホンザル個体群の拡大過程について). *Primates*, 48: 27-40
115. Toru Oi (大井徹) 他編著. Understanding Asian Bears to Secure Their Future. (アジアのクマの現状と将来). (日本クマネットワーク): 145pp.
116. Toru Oi (大井徹), Sayaka Shimoinaba (下稲葉さやか)(京都大学), Gong Jien (CITES Chengdu Office). Asiatic black bear. (ツキノワグマ). Understanding Asian Bears to Secure Their Future (日本クマネットワーク): pp.iii.
117. Toru Oi (大井徹), Yoshikazu Sato (佐藤善和)(日本大学), Tsutomu Mano (間野勉)(北海道環境科学研究センター), Koji Yamazaki (山崎晃司)(茨城県自然博物館). Asian Bear Special Workshop "Understanding Asian Bears to Secure Their Future" (アジアのクマ類のワークショップ「アジアのクマ類の現在と未来」) 報告. *International Bear News*, 16(1): 6-7
118. Koji Yamazaki (山崎晃司)(茨城県自然博物館), Toru Oi (大井徹). Asian bear country report is now available! (アジアのクマ類の国別レポートについて). *International Bear News*, 16(1): 29
119. Toru Oi (大井徹), Yoshikazu Sato (佐藤善和)(日本大学), Tsutomu Mano (間野勉)(北海道環境科学研究センター), Koji Yamazaki (山崎晃司)(茨城県自然博物館). A brief review of the country reports on the conservation of bears in Asia. (アジアのクマ類の保全に関する国別レポートの概略). 17th International Conference on Bear Research and Management, Program, Abstract and Information: pp.47
120. Sayaka Shimoinaba (下稲葉さやか)(京都大学), Toru Oi (大井徹), Harumi Torii (鳥居春己)(奈良教育大学). Geographical variation in the skull and dental morphology of the Japanese black bear. (ニホンツキノワグマの頭骨と歯牙形態の地理的変異). 17th International Conference on Bear Research and Management, Program, Abstract and Information, pp. 81.

121. 濱田穰 (京都大学), 栗田博之 (大分市役所), 大井徹ほか. Preliminary report on the geographical variation in rhesus macaques (*Macaca mulatta*) and the difference from long-tailed macaques (*Macaca fascicularis*). (アカゲザルの地理的変異とカニクイザルとの差異についての予備的報告). 霊長類研究, 22Supplement:S-7.
122. Hamada Yuzuru (濱田穰)(京都大学), Shyunji Goto (後藤俊二)(日本野生動物研究所), Yoshi Kawamoto (川本芳)(京都大学), Toru Oi (大井徹), Hiroyuki Kurita (栗田博之)(大分市役所), Suchinda Malaivijitnond (チュラロンコーン大学). Geographical variation in rhesus macaques (*Macaca mulatta*) and implication, for their evolutionary history: supplement to Fooden (2000)' evolutionary scenario. (アカゲザル (*Macaca mulatta*) の地理的変異とその進化史への含意: フーデンの進化シナリオを増補する). 人類学雑誌, 114 (3): 252
123. Hamada Yuzuru (濱田穰)(京都大学), Toru Oi (大井徹), Shyunji Goto (後藤俊二)(日本野生動物研究所), Hiroyuki Kurita (栗田博之)(大分市役所), Shigeyuki Izumiyama (泉山茂之)(信州大学), Yoshi Kawamoto (川本芳)(京都大学), Suchidan Malaivijitnond (チュラロンコーン大学). Overview of the primate diversity studies in the continental part of SE Asia. (東南アジア半島部における霊長類の多様性研究の概観). Symposium of Asian Primatology and Mammalogy, pp.28.
124. 宮下俊一郎, 島津康(和歌山県うめ研究所). 樹木病原*Botryosphaeria*属菌の分子系統群間における病原力の差異 - 和歌山県で発生したウメ枝枯病菌の事例 -. 日本森林学会大会学術講演集, 117: A05
125. 穴戸雅宏, 横山秀美, 門馬法明, 坂本一憲(千葉大学), 宮下俊一郎. 紫紋羽病発生リンゴ園と隣接林地の土壤微生物群. 土と微生物, 60(2): 129
126. 高橋裕史, 梶光一(東京農工大学). ニホンジカの大量捕獲(「野生動物による農林業被害軽減のために」, IMC9 公開シンポジウム記録3). 哺乳類科学, 46(1): 57-58
127. 高橋裕史. シカを生け捕る. 森林総合研究所関西支所研究情報, 81: 3
128. 梶光一(東京農工大学), 高橋裕史. 第5章 高密度化がエゾシカに及ぼす影響. 1. 密度効果はどこに現れる? - 洞爺湖中島のシカの体重と繁殖力. エゾシカの保全と管理(北海道大学出版会): 43-48
129. 高橋裕史. 第6回国際シカ類生物学会議(IDBC6)参加報告. 哺乳類科学, 46(2): 217-218
130. 梶光一(東京農工大学), 高橋裕史, 岡田秀明(知床財団), 小平真佐夫(知床財団), 山中正実(知床財団). エゾシカの爆発的増加: 2地域の比較. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: 210
131. 太田碧海(横浜国立大学), 松田裕之(横浜国立大学), 立澤史郎(北海道大学), 高橋裕史, 常田邦彦((財)自然環境研究センター). 個体群動態モデルを用いた地域別管理の提案. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: 150
132. 立澤史郎(北海道大学), 高橋裕史, 松田裕之(横浜国立大学), 常田邦彦((財)自然環境研究センター). ヤクシカの個体群動態と生息地管理. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: 191

133. 梶光一 (東京農工大学), 高橋裕史, 平川浩文. シカの大量捕獲技術の開発と個体数推定技術の改善. 研究成果441 (野生鳥獣による農林業被害軽減のための農林生態系管理技術の開発): 10-14
134. Takahashi, Hiroshi (高橋裕史), Kaji, Koichi (梶光一). The second mass-mortality of an introduced sika deer population. *Advances in Deer Biology: Deer in a Changing World (Proceedings of the 6th International Deer Biology Congress)*, 6: 153
135. 吉村真由美. 森林タイプの異なる流域に生息する底性生物群集の比較. 日本陸水学会大会講演要旨集, 71: 86
136. 吉村真由美. 本流における底性生物群集の時空間的分布パターンと支流における底性生物群集との関係. 日本生態学会大会講演要旨集, 54: 330
137. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Comparison of aquatic invertebrates among four small forest streams in Takatori Mountain, Shikoku, Japan (鷹取山(高知県梶原町)の4小渓流における水生生物群集の比較). *Bulletin of FFPRI*, 5: 199-203
138. MAYUMI YOSHIMURA (吉村真由美), TSUYOSHI YAMADA. Comparison of ion transportation before and after egg hatching in *Amphinemura* sp. (PLECOPTERA) (カワゲラの卵孵化前後における水中イオン移動の比較). *Physiological Entomology*, 31: 390-393
139. Mayumi Yoshimura (吉村真由美), Yu Isobe, Tadashi Oishi. Comparison of egg period, hatching rate, and first-instar nymphs among three species of stonefly. (カワゲラ3種における卵期間・孵化率・1令幼虫の比較). *Limnology*, 7: 117-121
140. OKOCHI Isamu, YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美), ABE Tetsuto, SUZUKI Hajime. High population densities of an exotic lizard, *Anolis carolinensis* and its possible role as a pollinator in the Ogasawara Islands. (小笠原諸島における外来種グリーンアノールの高い個体群密度と, 花粉媒介者となる可能性). *Bulletin of FFPRI* 5: 265-270
141. 小林聡(京都大学), 大西尚樹, 永田純子, 山田文雄, 杉村乾. アマミノクロウサギの奄美大島内に見られる遺伝構成. 日本哺乳類学会2006年度大会講演要旨集: p60
142. 大西尚樹. The status of Asiatic black bears in Japan -Genetic characteristics-. *Understanding Asian Bears to Secure Their Future*: p124
143. 大西尚樹. 森の動物たちは浮気性?. *ぼたり*, 11: 3-4
144. 大西尚樹. クマを捕まえずにクマの毛を集める. 森林総合研究所関西支所研究情報, 83: 3-4
145. 有馬浩史(京都大学), 大西尚樹. Usefulness of avian buccal cells for molecular sexing. *Ornithological Science*, 5(1): 139-143

146. Naoki Ohnishi (大西尚樹), Bungo Kanazawa (金澤文吾) (四国自然史科学研究センター). A genetic database for an endangered local population of the Asian black bear. (絶滅が危惧されるツキノワグマ四国個体群の遺伝情報データベースの作成). International Conference on Bear Research and Management, ABSTRACT, 17: 96
147. Reina Uno (鶴野レイナ) (慶應義塾大学), Naoki Ohnishi (大西尚樹), Hidetoshi Tamate (玉手英利) (山形大学). Genetic variations of the Asian black bear (*Ursus thibetanus*) in Yamagata prefecture, northern Japan. (山形県におけるツキノワグマの遺伝的変異). International Conference on Bear Research and Management, ABSTRACT, 17: 95
148. 黒田慶子, 大平峰子 (林木育種センター), 藤澤義武 (林木育種センター), 黒田宏之 (京都大学). マツの材線虫病抵抗性アカマツ家系苗における線虫の分散と密度の変遷. 日本森林学会大会学術講演集, 117: A28
149. 黒田宏之 (京都大学), 黒田慶子. ファイトアレキシン産生能力は材線虫病抵抗性マツの選抜指標となるか?. 日本森林学会大会学術講演集, 117: A27
150. 黒田慶子. 里山を守るには...最近のナラ枯れから学ぶこと. 森林総合研究所関西支所研究情報, 80: 1
151. 黒田慶子. 2005年「林業再生の道 --新たな森林産業の構築へ向けて--」シンポジウムの概要. 森林・木材・環境アカデミー講演会「林業再生の道 Part II」要旨集: 1-6
152. 黒田慶子. 「松枯れのメカニズム」. 「松風景再生シンポジウム in 京都」 ~ 松の木の美しき京都復活を願ひて ~
153. 黒田慶子. マツの材線虫病・・・木が枯れる仕組み (パネル). 「松風景再生シンポジウム in 京都」 ~ 松の木の美しき京都復活を願ひて ~
154. 黒田慶子. 抵抗性マツの特徴・・・なぜ強いのか? (パネル). 「松風景再生シンポジウム in 京都」実施要項 ~ 松の木の美しき京都復活を願ひて ~
155. 黒田慶子. スギ黒心材の発生原因と対策. 木材工業, 61(12): 611-613
156. 黒田慶子. 変わりゆく里山-森林の健康という視点から: 今里山で起こっていること - ナラが枯れていく - . 森林総合研究所関西支所年報, 47: 55-57
157. 黒田慶子. MRIを使って樹木の病気を診断する. Isotope News, 2007(2): 2-6
158. 黒田慶子. 研究トピックス: 自然教育と森林研究のコラボレーション. 森林科学, 49(2): 56-59
159. Kuroda Keiko (黒田慶子). Defense systems of *Pinus densiflora* cultivars selected as resistant to pine wilt (マツ材線虫病抵抗性として選抜されたアカマツにおける防御システム). INTERNATIONAL SYMPOSIUM: Pine wilt disease: a worldwide threat to forest ecosystems. 10-14 July 2006, Lisbon, Portugal, abstract, 47

- 160 . Kuroda Keiko (黒田慶子). Anatomical and noninvasive techniques to detect the first internal symptom in diseased trees. (罹病樹木の初期病徴を検出するための解剖学および非破壊的テクニック). Botany 2006, Chico, Carifornia, USA, abstract, 11
- 161 . Keiko Kuroda (黒田慶子), Yu Ichihara (市原優), Yoshiyuki Kanbara (神原芳行)(岩手医科大学), Takashi Inoue (井上敬)(岩手医科大学), Akira Ogawa(小川章)(岩手医科大学). Magnetic resonance micro-imaging of xylem sap distribution in tree stems (樹幹の水分分布のMRIによる解析). Tree sap III (寺澤実編) : 149-160
- 162 . Kuroda Keiko (黒田慶子). Inhibition factors of symptom development in the Japanese black pine (*Pinus thunbergii*) and red pine (*P. densiflora*) trees selected as resistant to pine wilt . International symposium on pine wilt disease in Asia, 15-18 Feb. 2007, Kyoto, Japan, 17
- 163 . 浦野忠久 . 穿孔性昆虫を利用する寄生バチ . 樹の中の虫の不思議な生活 (柴田叡弍・富樫一巳編著) : 123-143
- 164 . 浦野忠久 . サビマダラオオホソカタムシの標的外種であるマツ穿孔性昆虫に対する放飼試験 . 日本森林学会大会学術講演集 , 117 : B01
- 165 . 浦野忠久 , 牧本卓史 (岡山県林業試験場) . サビマダラオオホソカタムシの野外放飼試験 - 土着個体の生存するマツ林での成虫放飼試験 - . 日本森林学会関西支部 , 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会発表要旨集 , 57 : 40
- 166 . 牧本卓史 (岡山県林業試験場) , 浦野忠久 . サビマダラオオホソカタムシの野外放飼試験 - 野外枯損立木への卵放飼試験 - . 日本森林学会関西支部 , 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会発表要旨集 , 57 : 41
- 167 . 浦野忠久 . サビマダラオオホソカタムシ飼育個体の産卵と温度・日長の関係 . 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 , 50 : 141
- 168 . 浦野忠久 . 森林昆虫研究最近の動向 - 第117回日本森林学会より - . 森林防疫 , 55 : 145-151
- 169 . 浦野忠久 , 衣浦晴生 , 大住克博 , 上田明良 , 藤田和幸 . 滋賀県志賀町でマレーズトラップにより採集されたカミキリムシ類 . 森林総合研究所研究報告 , Vol.5, No.3 : 249-255
- 170 . Urano Tadahisa (浦野忠久). Experimental release of adult *Dastarcus helophoroides* (Coleoptera: Bothrideridae) in a pine stand damaged by pine wilt disease: Effects on *Monochamus alternatus* (Coleoptera: Cerambycidae) . Bulletin of FFPRI , 5:257-263
- 171 . 衣浦晴生 , 小林正秀 (京都府林業試験場) , 野崎愛 (京都府林業試験場) . カシノナガキクイムシの繁殖成功率 - 穿入生存木と穿入枯死木 - . 日本森林学会大会学術講演集 , 117 : B07
- 172 . 斎藤正一 (山形県森林研究研修センター) , 小林正秀 (京都府林業試験場) , 中島忠一 , 衣浦晴生 , 布川耕市 (新潟県森林研究所) . 合成フェロモンによるカシノナガキクイムシ大量捕殺法の検討 . 日本森林学会大会学術講演集 , 117 : B08

173. 小林正秀(京都府林業試験場), 野崎愛(京都府林業試験場), 岡田充弘, 布川耕市(新潟県森林研究所), 衣浦晴生. カシノナガキクイムシの合成フェロモンで捕獲した昆虫. 日本森林学会大会学術講演集, 117: B09
174. 衣浦晴生, 浦野忠久. カシノナガキクイムシ孔道へのサビマダラオオホソカタムシ接種試験. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会発表要旨集, 57: 34
175. 衣浦晴生. 被害を拡げるカシノナガキクイムシ. 森林総合研究所関西支所年報, 47: 59
176. 衣浦晴生. ナラ枯れとカシノナガキクイムシの関係. ナラ枯れの被害をどう減らすか - 里山林を守るために -, 森林総合研究所関西支所発行: 5-8
177. TOKORO Masahiko (所雅彦), KOBAYASHI Masahide (小林正秀)(京都府林業試験場), SAITO Shoichi (斎藤正一)(山形県森林研究研修センター), KINUURA Haruo (衣浦晴生), NAKASHIMA Tadakazu (中島忠一), SHODA - KAGAYA Etsuko (加賀谷悦子), KASHIWAGI Takehiro (柏木丈拡)(愛媛大学), TEBAYASHI Shin-ichi (手林慎一)(高知大学), KIM Chul-Sa (金哲史)(高知大学), MORI Kenji (森謙治)(東洋合成). Aggregation pheromone, quercivorol: (1S,4R)-p-menth-2-en-1-ol, isolated from the ambrosia beetle *Platypus quercivorus* (Maruyama) (Coleoptera: Platypodidae). Bulletin of Forestry and Forest Products Research Institute, Vol.6, No.1
178. 高畑義啓, 宮下俊一郎, 衣浦晴生. 紀伊半島のカシノナガキクイムシから分離された酵母類. 日本森林学会大会学術講演集, 116: 3B07
179. 高畑義啓. 樹病研究最近の動向 - 第117回日本森林学会大会より -. 森林防疫, 55(6):120-124
180. 高畑義啓. 「ナラ菌」が樹木に引き起こす水不足. 森林総合研究所関西支所研究情報, 80: 2
181. 野田巖. 立地条件によって伐出作業システム類型を判定する手法に関する考察 - ロジスティック回帰モデルの適用可能性 -. 森林応用研究, 日本森林学会関西支部, 16(1): 11-15
182. 林雅秀, 野田巖, 山田康裕. 森林所有者の森林経営への意欲に影響する要因. 林業経済研究, 52(3): 1-11
183. 野田巖. 南西諸島における緑化樹木の生産と流通. 森林総合研究所九州支所年報, 18: 36-37
184. 野田巖, 齋藤英樹, 鹿又秀聡, 清野嘉之, 林雅秀. 荒強当国有林スギ花粉間伐試験地の調査結果. 森林総合研究所九州支所年報, 18: 34-35
185. 齋藤英樹, 野田巖, 鹿又秀聡. 仁川第1号ヒノキ収穫試験地の調査結果. 森林総合研究所九州支所年報, 18: 39
186. 齋藤英樹, 野田巖, 鹿又秀聡. 寺床第2スギ収穫試験地の調査結果. 森林総合研究所九州支所年報, 18: 40
187. 野田巖, 林雅秀, 齋藤英樹, 鹿又秀聡, 岡勝. 針葉樹人工一斉林の針広混交林化誘導策に対する林業採算性ポテンシャル算出のためのデータセットの作成. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 11:40-53

188. 野田巖, 金世彬 (韓国国立忠南大学). 東アジアにおける病原微生物の侵入ルートから見た樹木類の移動実態 (II) 韓国の調査から. 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(1)) 研究成果報告書, 研究課題番号15380113, 85-88
189. 鹿又秀聡, 野田巖, 中島徹 (東京大学). 利用間伐の実態と推進に向けての課題. 日本森林学会大会学術講演集, 117: 89
190. 野田巖. AR-CDM支援のためのデータベースについて～概要と利用方法について～. A/R CDMプロジェクト技術紹介セミナー～インドネシア炭素固定森林経営現地実証調査の成果より～報告書, 国際協力機構: 83-85
191. 野田巖. 造林未済地問題～経済的支援と国産材利用の政策を～. 「国民参加の森林づくり」シンポジウム: 放置林を考える
192. 齋藤英樹, 野田巖. 衛星データを用いたスギ集団葉枯症状の広域的分布調査法の開発. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 15: 156-160
193. 清野嘉之, 佐藤保, 石田清, 野田巖. 花粉生産を抑制する林分密度管理技術の開発. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 15: 38-52
194. 福嶋崇 (東京大学), 平塚基志 (早稲田大学), 野田巖, 仲摩栄一郎 ((財)国際緑化推進センター), 仲建三 ((財)国際緑化推進センター), 大角泰夫 ((財)国際緑化推進センター). CDM植林の考え方と手続きの解説. 平成17年度森林吸収源計測・活用体制整備強化事業調査報告書(2)CDM植林基礎データ整備, 森林総合研究所: 183-187
195. 清野嘉之, 野田巖. CDM植林実務支援データベースの改良. 平成17年度森林吸収源計測・活用体制整備強化事業調査報告書(2)CDM植林基礎データ整備, 森林総合研究所, 200
196. Iwao Noda (野田巖), Hidesato Kanomata (鹿又秀聡) Hideki Saito (齋藤英樹). Economical forestry zoning method for forest plantations based on site conditions (立地条件に基づいて人工林地を林業経済性でゾーニングする方法). Proceedings of 2006 IUFRO Forest Plantations Meeting, Conference Presentation Synopsis, October 10-13, 2006, DoubleTree Guest Suites, Charleston, South Carolina, USA
197. 柿澤宏昭 (北海道大学), 齋藤和彦, 山本信次 (岩手大学). 自然保護・市民参加論選著解題. 林業経済研究の論点 - 50年の歩みから (林業経済学会編), 第13章III
198. 近藤洋史, 齋藤和彦, 田中亘. 高野山スギ収穫試験地の林分構造と成長. 森林総合研究所関西支所年報, 47: 49
199. 近藤洋史, 齋藤和彦, 田中亘. 高野山ヒノキ収穫試験地の林分構造と成長. 森林総合研究所関西支所年報, 47: 50
200. 齋藤和彦. 立場の異なる人や組織が連携する仕組みと条件を探る. 森林総合研究所関西支所研究情報, 80: 3
201. 堀内美緒 (京都大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 奥敬一, 森本幸裕 (京都大学). 明治後期から大正期の滋賀県西部の里山ランドスケープにおける山林資源利用の変化. ランドスケープ研究, 70(5): 563-568

202. 三好岩生 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 大岸万里子 (京都大学), 奥敬一. 丹後半島山間地の2集落における地形的要因からみた水利用形態と景観形成. ランドスケープ研究, 70(5): 683-688
203. 木村栄理子 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 奥敬一, 柴田昌三 (京都大学), 古田裕三 (京都府立大学). 嵯峨嵐山における竹林景観の実態と景観保全施策に関する研究. ランドスケープ研究, 70(5): 605-610
204. 奥敬一, 多田弘之 (近畿中国森林管理局), 中田茂己 (近畿中国森林管理局箕面森林環境保全ふれあいセンター). 箕面国有林における市民参加を通じた里山再生推進モデル事業. 日本森林学会大会学術講演集, 117: K14
205. 深町加津枝 (京都府立大学), 奥敬一. 天橋立に対する地域住民の認識と景観保全の方向性について. 日本森林学会大会学術講演集, 117: J03
206. 堀内美緒 (京都大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 奥敬一, 森本幸裕 (京都大学). 明治後期の日記にみる里山ランドスケープの山林資源利用の時系列変化. 日本森林学会大会学術講演集, 117: J01
207. 奥敬一. 里山に集う市民の力 やぶこぎ探検隊の例に学ぶ. 五十河発環境シンポジウム笹葺き民家の保全とエコツーリズムのすすめ: 9-14
208. 堀内美緒 (京都大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 奥敬一, 寺川庄蔵 (びわ湖自然環境ネットワーク). Reed community restoration projects involving satoyama resources in the Lake Biwa area. Proceedings of the International Conference on Ecological Restoration in East Asia 2006, Osaka: 98
209. 奥敬一, 小川菜穂子 (スペースビジョン研究所), 堀内美緒 (京都大学), 深町加津枝 (京都府立大学). Landscape and ecology of bamboo grass-thatched roofs on the Tango Peninsula, Japan. Proceedings of the International Conference on Ecological Restoration in East Asia 2006, Osaka: 147
210. 奥敬一, 深町加津枝 (京都府立大学), 三好岩生 (京都府立大学), 堀内美緒 (京都大学). 丹後半島山間部における里山林の種組成および多様性. 日本景観生態学会大会講演要旨集, 16: 24
211. 三好岩生 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 大岸万里子 (京都大学), 奥敬一. 世屋川流域における地形的要因との対応でみた水利用の変遷. 日本景観生態学会大会講演要旨集, 16: 29
212. 奥敬一. ササぶき民家のある風景. 森林総合研究所関西支所研究情報, 82: 2
213. 奥敬一, 深町加津枝 (京都府立大学). 景観の保全と創造. 主張する森林施業論 22世紀を展望する森林管理 (森林施業研究会編): 293-300
214. 田中邦宏, 野田巖. 固定試験地のデータを用いた既存の林分収穫表の検討 - 紀州地方ヒノキ林分収穫表の平均胸高直径について -. 森林応用研究, 16(1): 17-20
215. 田中邦宏, 野田巖. 固定試験地のデータを用いた既存の林分収穫表の検討 - 紀州地方ヒノキ林分を対象に - 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会発表要旨集, 57: 1

- 216．田中亘．第16章林業労働への参入と退出の動向．森林・林業・木材産業の将来予測（日本林業調査会）：335-348
- 217．田中亘．第17章林業作業者数の将来予測．森林・林業・木材産業の将来予測（日本林業調査会）：349-362
- 218．佐藤宣子(九州大学), 興杓克久(九州大学), 田中亘, 能本美穂(九州経済調査協会)．第6章林家経営論．林業経済研究の論点（日本林業調査会）：233-268
- 219．田中亘．三重県における大規模林家の経営展開と労働力調達 - 直営伐採と外部委託化 - ．2006年林業経済学会秋季大会自由論題要旨：B21
- 220．田中亘．国勢調査のデータから見る林業作業者．森林総合研究所関西支所研究情報，81：2